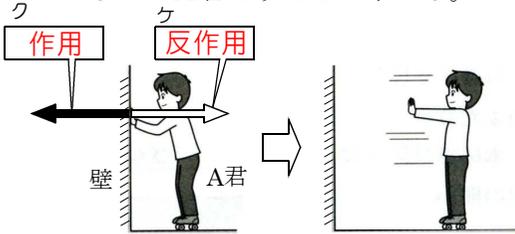


互いにおよぼし合う力

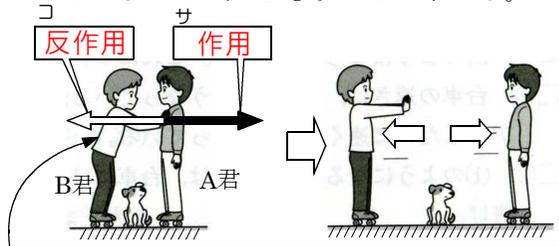
力のおよぼし合い

ある物体Aから物体Bに力を加えるとき、同時にAはBから力を受ける。AからBに加えた力を作用というとき、AがBから受ける力を反作用という。
作用があれば必ず反作用もあり、これらの2つの力は向きが反対で、大きさが等しい。これを作用・反作用の法則という。

① A君が壁を押すとき壁もA君を押しているのでA君はうしろへ下がる。

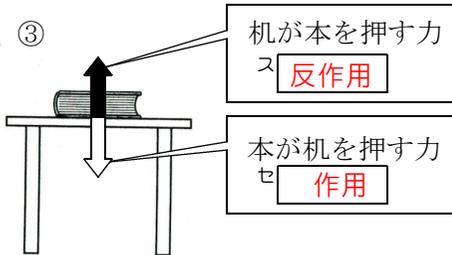


② B君がA君を押すときA君もB君を押しているので二人ともうしろへ下がる。



B君は **B君がA君を押した力と同一直線上で、大きさが等しく反対向きの力を受ける。**

③



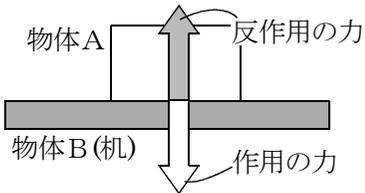
作用・反作用

④



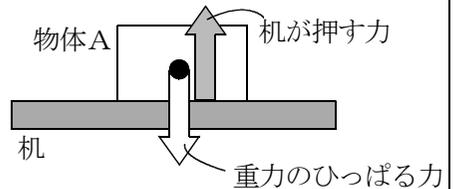
力のつり合い

物体Aが物体Bに作用の力を加えると物体Bが物体Aに同じ大きさで反対向きの反作用の力を加えること。



2つの物体が互いに力を加える

1つの物体Aが机から押される力と重力からひっぱられる力、つまり2つの同じ大きさで、反対向きの力を受けること。



1つの物体に2つの力がはたらく